

算数 習熟度別指導の考え方

算数科の少人数指導に関しては、児童が自ら学ぶコースを選択する。指導内容や授業で達成すべきねらいも共通しているが、その結論に至るまでの過程に相違点がある。

<基本的な流れ>



<赤コースの考え方> 「自分で考えること」を中心に学習を進める



自力解決の時間を多くとる。その後の集団討論は正しい答えを求める協働より、「早く、簡単に、正確に」課題を解決させる方法や、効果的な説明についての協働をする。

<青コースの考え方> 「友達と考えること」を中心に学習を進める



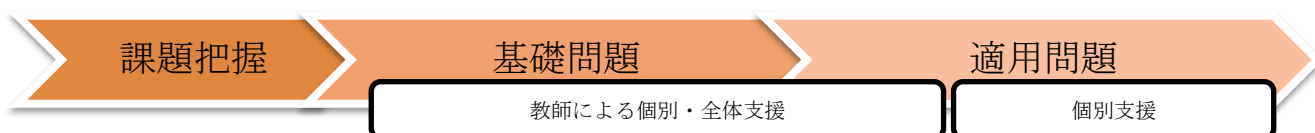
自力解決の時間を確保しながら、友達と課題解決を目指した協働を行う。教科書に記されている基本的な流れにもっとも近い形。

<緑コースの考え方> 「友達や先生と考えること」を中心に学習を進める



青コースより自力解決が弱い児童がいることが予想される。集団討論において児童同士の教え合いを行う。教師も場面に応じて個別指導を行ったり、全体に指示をしたりする。

<黄コースの考え方> 「先生と一緒に考えること」を中心に学習を進める



1 授業時間の中で様々な形の問題にふれ、教師と一緒に解いていく。教科書にあるような自力解決や集団討論以上に、問題が解けることの喜びを味あわせたり自信をつけさせたりすることを重視する。